

学校だより

大津市立葛川小・中学校

平成28年11月号

ランシング市生徒との交流

大津市と姉妹都市であるアメリカのランシング市から、中学生6名が引率の先生と共に本校を訪問し、書道体験とゲームを通じた交流を行いました。(10/26)前日に葛川少年自然の家に宿泊し、翌日、歩いて本校に到着。日本での約1週間の滞在の初日が、葛川での体験となりました。大きなトランクを見て、びっくりしたのは私だけではなかったと思います。



日本の文化に触れてもらうことをねらって、中学生がランシング生に、漢字一文字(山、和、友、希、光、秋、森など)の書き方を教えました。片言の英語に、身振り手振りを入れながら頑張って説明する姿は、とても微笑ましかったです。ランシング生も、興味津々



で次から次へと新しい「字」にもチャレンジしていました。その後、体育館で小学生も加わり、簡単な互いの自己紹介

をし(こちらは英語で、向こうは日本語で)、じゃんけんゲームや玉入れなどをして、楽しいひとときを過ごしました。5分間のフリータイムでは、子どもたちのアットホームなやりとりが見られ安心しました。

私たちの学校林活動

春、夏、秋の年3回、足を運ぶアシビ谷にある学校林の山。葛川の秋は、紅葉がとてもきれいですが、秋の後半は時雨れることが多く、秋の実施日を決めるのに迷います。今年は思い切って秋の入り口の10月24日に行いました。今年で6年目を迎え、ずいぶん木も大きくなり、生長の早い杉の木は中学生の背丈の3倍近くになるものもあります。そこで、昨年からは木の世話と同時に、木の生長の調査活動を取り入れました。



高さ、幹の太さ、葉の数、木の周りにすむ生き物などを班に分かれて観察記録し、現場で報告会を行いました。

小中学生が一緒に行う活動で、中学生のリーダーシップが着実に育ってきていることが、運動会や紅葉祭以外のこうした活動でも見られるようになり、葛川小中学校の宝物だと喜んでいます。

＜2年生児童の感想より＞

織田さん、いろいろ教えてくれてありがとうございます。歩いている時、ヤマカガシの赤ちゃんがいたからびっくりしました。クヌギの木の高さは、4メートル50cmぐらいあり、すごかったです。はっぱの数もふえていました。はっぱが虫に食べられていたのが、何の虫が食べているのかなと思いました。



小中合同キックベースボール大会

小中合同体育は、学期ごとに種目を決めて取り組んでいます。1学期は、運動会に向けて「合同リレー」をし、バトンパスがとても上手になり、運動会でその成果が見られました。2学期は、球技種目から「合同キックベースボール」を行いました。ボールを蹴る練習、ルールの確認、試合に向けての作戦など2時間取り組み、3時間目は試合をしました。低学年には特別ルールを設け(ベースにボールをおいて蹴る)など、小中学生が一緒になってやれる工夫がされています。



守備も小学生が蹴るときは、やや前進守備をとり、中学生が蹴るときは、深めにまもるなど連携プレーができていました。また、野球で言えばバンドのような小さい蹴りで、一塁を走り抜ける小学生もいれば、走者一掃するパワフルな蹴りを見せる中学生もいて、試合が進むにつれ、白熱した展開になっていきました。応援の声が盛んに発せられ、とても楽しそうでした。

中学校新執行部誕生



中学校では、生徒会役員選挙が行われ(10/27)、その結果を受け新執行部と委員会が決定しました。生徒10人の小さな中学校では、全員が生徒会の仕事に係わることになります。新執行部では生徒会スローガンを作り、以下のことに頑張って取り組みます。

- ・みんなで意見を出し合って、自分たちのしたいことをよく考え、実行に移していく。
- ・副会長は会長を助け、また、一人ひとりが役割をしっかりと果たす楽しい生徒会を作っていくたい。
- ・小中交流を今まで以上に深めていきたい。

生徒会スローガン：伝説 ～Yes, we can.～